

ようこそ畑へ

2008年9月9日(火),11日(木) VOL. 13

枝豆が採れ始めました。まずは、黒豆の枝豆からお届けしています。枝豆は大豆を若いうちに食べるものです。一般的には枝豆用の品種があり、数多くの種類が販売されています。伊達家では、枝豆用の品種も少しだけ作っていますが、主に黒豆、大豆、青大豆を枝豆として利用しています。同時に種まきすると、枝豆としての収穫時期が少しずつずれるので、長くいろんな枝豆が楽しめるよう、そうしています。

たくさん播いて一部を枝豆として食べ、残りはそのまま畑で育てて、10月に豆として収穫して翌年の種に使っており、いずれもメノビレッジでの研修の時から種採りを続けてきたものです。

枝豆の段階では、どれも緑色をしています。熟するにつれて色が変わっていきます。黒豆は、まず紫色になり、葉が枯れ落ちて豆が熟してくると黒くなっていき、形は乾燥するにつれ球形になっていきます。

あたりまえのことですが、黒豆を播けば黒豆が収穫でき、青大豆は青大豆に、大豆は大豆になり、種としてちゃんと次の世代に命をつないでいきます。あの小さな種から、根が出て、芽が出て、茎が伸び、葉が開いて、花が咲き、実がなり、種が採れ、来年に続き、ひいては10年後、20年後につながっていくのです。それを見ると種というのは、本当にかげがえのないものだと思います。